

令和5年度

第2回 入間市立図書館協議会

日時:令和5年 11 月 24 日(金)

午後2時 00 分～午後 3 時 30 分

会場:入間市産業文化センターB棟3階

教育センター 第1・第2研究室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和 4 年度社会教育施設アクションプラン外部評価について

(2) 令和 5 年度上半期の事業について

(3) 令和 5 年度図書館を使った調べる学習コンクールについて

(4) 令和5年9月定例会市議会の一般質問について

4 その他

5 閉 会

人間市立図書館協議会 委員名簿

任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

No.	職	氏 名	選出基準等	備考
1		しおざわ えいち 塩澤 榮一	学 校 教 育 関 係 者 (宮 寺 小 学 校 長)	新任
2	会長	しみず けいじ 清水 繁	学 識 経 験 者	
3		のぎき ひろのぶ 野崎 皓布	学 識 経 験 者	
4	副会長	おおたけ ちきり 大竹 千里	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア ト ト ロ)	
5		もりや ひでかず 森谷 秀一	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア ど ん ぐ り)	
6		いしかわ きょうこ 石川 京子	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア 茶 の 花)	
7		あさち ゆきこ 浅地 由紀子	社 会 教 育 関 係 者 (朗 読 ボ ラ ン テ ィ ア は づ き)	
8		まつだ ゆきよ 松田 千代	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア か ざ ぐ る ま)	
9		あおやま いっこ 青山 衣津子	公	募
10		はが たかお 芳賀 隆夫	公	募

※図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。(図書館法第14条第2項)

1 社会教育事業の充実													
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
1-1 学習の機会提供の充実	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実させる。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。	電子図書館(電子書籍)の活用	① 電子図書資料点数の充実	年間受入数	1,485 点	600 点	1,994 点	332%	5	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し購入することで、目標を大きく上回り達成できたため。	電子図書館の利用者増加のため、引き続き資料の充実を図っていく。	5	・いつでも本が読めるのは便利なので、さらなる増書を願う。 ・充実を望む。
			② 電子図書館利用登録者数の拡大	年間登録者数	1,377 人	500 人	504 人	101%	5	図書館新規登録時にPRすることなどにより、目標どおり実績を上げることができたため。	引き続き、利用者の増加を図るため、PRに努めていく。	5	・今後、増えていくと思う。
		運営にかかわるボランティア募集と市民参加による運営の推進	① ボランティアグループとの勉強会の開催	年間実施回数	37 回	40 回	60 回	150%	5	月1回定期的に開催できたほか、おたのしみ会の準備等も通じて勉強会を開催することができたため。	引き続き、ボランティアグループと連携を図り、定期的に勉強会を開催していく。	5	・できることを進めていただきたい。 ・月1回定期的に開催できて良かったと思う。勉強会内容について知りたい。
			② 読み聞かせボランティアグループのおはなし会への参加	参加人数	163 人	200 人	478 人	239%	5	コロナ禍で参加を控えている会員もいるが、多くのボランティアの方に参加していただくことができたため。	引き続き、ボランティアグループと連携を図っていくとともに新たな会員の確保にも努める。	4.9	・地域における子どもの読書活動において中心的な役割を果たすことを期待する。 ・少しずつ増えるとうい。 ・ボランティアと図書館全体とのかかわり方を深めていただきたい。 ・もう少し参加人数を増やしてもらいたい。
			③ 「藤沢朗読会」を開催(藤沢分館 協力:朗読グループ「藤沢朗読会」)	年間実施回数	2 回	10 回	11 回	110%	5	目標より多く実施することができたため。	今後とも、引き続き開催していく。そのために、早期に会場を予約するよう努める。	5	
			④ ボランティア研修会の実施	実施回数	0 回	1 回	0 回	0%	1	コロナ禍のため、実施することができなかったため。	読み聞かせに限らず、様々な役割のボランティアを育成できるよう、研修会の実施に努める。	1	・スキルアップ研修の実施も望む。 ・ボランティアの高齢化に向けて養成講座の開催をお願いしたい。 ・ぜひ進めていただきたい。 ・外部に講師を求めるだけでなく図書館員、ボランティアOBに講師を依頼することも考えて研修会を実施してほしい。 ・読み聞かせの研修はとても大事。この数年実施できてないのではないか。
			① 文学講座の開催	参加者数	0 人	100 人	0 人	0%	1	コロナ禍のため、実施することができなかったため。	体制を整え実施に努め、利用促進を図っていく。	1	・教養向上、生涯学習につながるイベント(講座)の実施をしていただきたい。 ・少しずつ進めていただきたい。
			② 利用促進のため分館3館で自主事業を開催	実施事業数	40 事業	40 事業	63 事業	158%	5	R3年度に実施できなかった事業を開催したほか、新たに郷土歴史講座、俳句ポスト設置を開催したことにより目標を上回る実施数となったため。	今後とも、自主事業の実施に努め、利用促進を図っていく。	5	・進めていただきたい。
		利用促進事業の開催	③ 公民館との共催事業の開催	実施事業数	8 事業	8 事業	16 事業	200%	5	学習講座、読み聞かせ講座、工作会等を共催し、目標を上回ったため。	今後とも公民館(地区センター)と連携を図り、事業を実施していく。	5	・できることを進めていきたい。 ・公民館の図書室利用をもっと宣伝するとよい。 ・公民館との共催により大きな成果があった。

1 社会教育事業の充実													
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
1-1 学習の機会提供の充実	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実させる。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。	本館閲覧席開放事業	① 本館閲覧席夜間開放事業(20:00~21:30)による利用者数平均	利用席数	10 席	15 席	10 席	67%	3	1月より席数は増やしたが、利用は増加しなかったため。	夜間の時間帯にかかる経費と利用者数を比較し、継続するかどうかも含めて検討する。	2.9	・現行図書館運営の見直しに伴う図書館資金の適正配分。限られた図書館資金を最大限に活用、費用対効果を考慮しながら生み出された資金を新しい図書サービスの実現に充てる。最も効果的な運営をし、サービスの充実や新たな事業展開を実現すべきと考える。 ・希望者がいる限り、可能であれば継続していただきたい。 ・じっくりと検討してほしい。 ・人数が減っても利用する人がいる限り継続してほしい。 ・簡単に決められない問題だと考えている。 ・利用者は少なくとも利用者にとっては貴重な時間。もう少し時間をかけて検討をお願いしたい。
		視聴覚ライブラリーを活用した映画会の開催	① 視聴覚ライブラリーを活用し映画会を開催	年間上映回数	0 回	24 回	5 回	21%	2	西武分館視聴覚室は換気システムがコロナ禍では十分でないことから開催を見送ったが、金子分館・藤沢分館では、視聴覚ライブラリーの作品を活用した映画会を開催することができたため。	西武分館視聴覚室以外(会議室など)での開催を検討していく。	2	・視聴覚室が使えないのはもったいないと思う。どうにか換気システムを導入できないか。 ・できる限り開催をしていただきたい。 ・西武分館視聴覚室の換気システムを修理してほしい。
		ダイヤ4市及び青梅市との利用促進	① ダイヤ4市との相互利用促進	相互利用数	28,795 人	28,890 人	26,572 人	92%	5	目標には若干届かなかったが、多くの市外の方に利用してもらい、概ね目標を達成できたため。	今後とも、相互利用のPRを行い、利用促進に努める。	4.9	・よい連携をしていただきたい。 ・休館日を一律同じ月曜日ではなく、ずらしてもらおうと利用者は有難い。
			② 青梅市との相互利用促進	相互利用数	104 人	110 人	80 人	73%	3	PR不足のためか、目標を下回ったため。	青梅市民への呼びかけ方法を考えるなど、利用促進に努める。	3	・少しずつできることをして行ってほしい。 ・PRを頑張ってもらいたい。 ・青梅市は遠いし、わざわざ入間市には来ないと思う。
1-2 資料の収集・提供	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援する。	図書館資料の充実	① 蔵書資料点数の充実	蔵書数	581,043 点	585,000 点	587,302 点	100%	5	幅広い分野の資料を受入れすることで、目標点数を達成することができたため。	引き続き蔵書の充実に努める。	5	・一般成人の教養向上、生涯学習につながるものの充実に努めていただきたい。 ・蔵書の充実が望ましい。 ・防災関連資料を幅広く備えてほしい。(日本防災士会発行のものなど)
			② 貸出点数の増加	貸出点数	689,720 点	860,000 点	670,698 点	78%	4	システム更新に伴う休館や館内設備故障の影響などにより、目標点数を下回ったため。	貸出し点数の増加に努める。	4	・読書の推進を学校でも進めたい。
		市民ニーズに応える資料の充実	① 市民ニーズに応えた一般向け図書の購入	年間購入数	4,671 点	6,500 点	5,639 点	87%	5	文庫本等比較的安価な資料を多く購入したことにより、購入数としては目標点数を下回ったが、概ね順調に購入できたため。	市民ニーズに応える図書の購入に努める。	5	・地域課題や現代的課題を目的としたものに期待する。 ・市民ニーズとは何かをより深めていけるとよい。

1 社会教育事業の充実													
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
1-2 資料の収集・提供	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援する。	子どもの読書推進のための児童書や調べ学習に使える図書の購入	① 読書推進のための児童書や調べ学習に活用する図書の購入	年間購入数	2,592 点	2,600 点	2887 点	111%	5	小学校の調べ学習用の図書を多く購入するなどして、目標点数を達成することができたため。	特に調べ学習に活用する図書の購入に努める。	5	・小学生は本が大好き。 ・小学校高学年になると調べ学習が増えるので良いことだと思う。 ・調べ学習は大きな成果だったので、更に図書の充実をお願いしたい。
		参考図書の購入	① 各種調査研究のための参考図書の購入	年間購入数	165 点	175 点	154 点	88%	5	比較的高価な参考図書を多く購入したことにより、購入数としては目標点数を下回ったが、概ね順調に購入できたため。	市民の求める情報を的確に提供できるよう参考図書の収集に努める。	5	・市民のニーズをさぐりながら収集に努めていただきたい。
		地域、行政資料の充実	① 郷土行政資料の充実	年間収集数	363 点	400 点	346 点	87%	5	資料をデジタル化する傾向にあるため、図書の寄贈が減少傾向にあるためか、目標点数を下回ったが、概ね順調に収集できたため。	発行される郷土行政資料で継続的に受け入れられている資料は漏れなく収集できるよう努める。	5	・郷土行政を大切にして充実に努めてもらいたい。
		視聴覚資料の購入	① CD、DVDの購入	年間購入数	116 点	270 点	129 点	48%	3	比較的高価なDVDを多く購入したため、購入数としては目標点数を下回ったため。	計画的な購入に努める。	3	・計画的に充実を。 ・CDやミュージックテープ等をより拡大して揃えてほしい。
		大活字本の購入	① 視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本の購入	年間購入数	92 点	110 点	102 点	93%	5	目標点数を概ね達成することができた。定評のある出版者の図書は全点購入することができたため。	引き続き購入するように努める。また、新たな出版社を開拓する。	5	・望む方に少しでも応えていただきたい。
		外国語図書の購入	① 外国語図書の購入	年間購入数	10 点	20 点	10 点	50%	3	多文化サービスの本を購入したため、外国語図書(絵本含む)については目標点数を下回ったため。	外国語図書は購入できなかったが、多文化サービスの本は購入した。今後は、単に外国語というだけでなく、多文化サービスを中心とした選書に心掛けたい。	3	・可能な限り拡充していただきたい。
		企業からの雑誌寄贈受入れ	① 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	25 タイトル	25 タイトル	35 タイトル	140%	5	積極的に企業に声をかけることにより、2社増えたため。	雑誌の休刊が相次ぐ中、選書することが難しい面もあるが、今後とも企業に協力してもらい、受入れ雑誌を増やせるよう努める。	5	・できることを進めていただきたい。
		レファレンスサービスの充実	① 司書資格職員数の確保	司書職員数	38 人	40 人	44 人	110%	5	本館13名、西武15名(司書補2名含)、金子5名、藤沢11名の職員数で、目標を上回ったため。	本館については、司書有資格職員を要望するとともに、司書講習を受講できるよう予算の確保にも努める。	5	・司書の専門性をいかしたサービスを推進していくための制度・仕組みづくりに努めていただきたい。 ・可能な限り人員確保をしていただきたい。
			② レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	0 回	1 回	1 回	100%	5	日程が合わず不参加となった回もあるが入門編には参加できたため。	レファレンスの向上のため、参加できるよう努める。	5	・課題解決支援の充実を望む。 ・できることを少しずつしていきたい。
			① 録音資料の作製	作製点数	6 点	4 点	5 点	125%	5	目標点数以上の作製をすることができたため。	朗読ボランティアと連携を図り、作製していく。	5	・順調に進んでいる。
	② 点訳絵本の作製	作製点数	7 点	5 点	1 点	20%	2	点訳に必要な消耗品等の準備不足で目標に達することができなかったため。	点訳ボランティアとの連携を図り作製していくとともに、消耗品の予算確保にも努める。	2	・予算と相談し可能な限り作製していただきたい。		
1-3 社会教育に関する情報の提供	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、様々な方法により、正確かつ迅速に伝える。	図書館ホームページのメンテナンスを実施	① 図書館ホームページのメンテナンスを実施	メンテナンス実施回数	12 回	12 回	9 回	75%	4	前システム時(R4. 04~12)は毎月1回メンテナンスを実施していたため。	新システムでもメンテナンスを行い、よりよいサービスを提供していく。	4	・よりよいサービスを期待する。
		パスワード登録者数	② パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	3,229 人	3,300 人	3,594 人	109%	5	目標以上の登録者数だったため。	パスワード登録により、予約ができたマイページで様々なことができるため、今後ともPRに努める。	5	・どんどん広めていっていただきたい。

1 社会教育事業の充実													
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
1-3 社会教育に関する情報の提供	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、様々な方法により、正確かつ迅速に伝える。	図書館だよりの発行	① 図書館だよりの発行	年間発行回数	4 回	4 回	4 回	100%	5	目標どおり発行できたため。	引き続き図書館や本の情報をお伝えできるよう努める。ホームページにも掲載する。	5	・少しずつ広めていければよい。
			② 図書館だよりイベント版の発行	年間発行回数	—	12 回	12 回	100%	5	新たに発行を始め、目標どおり発行できたため。	図書館のイベント最新情報を伝えるよう努める。	5	・市民に広めていただきたい。
		コミュニティFM放送、CATVでの図書館情報と資料紹介	① コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	53 回	52 回	52 回	100%	5	毎週1回出演することで、目標を達成することができたため。	地域の方に図書館や本の情報を伝えるために有効な手段であるため、引き続き出演に努める。	5	・少しずつ広がるとうい。 ・あらゆる広報媒体を活用して情報を発信していただきたい。
			② CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	5 回	6 回	1 回	17%	4	主な出演機会であった番組「ハローいるま」が終了したため、目標に達することができなかったが、別の機会としてニュース入間出演し、「新しくなった図書館」をPRできたため。	「ハローいるま」の終了は残念であるが、他の機会に出演できるよう、CATVとも連携を図っていく。	4	・できることを少しずつしていけるとよい。 ・FMチャッピーも、回数を増やせたらよいと思う。
		「広報いるま」に図書館に関する特集記事を掲載	① 「広報いるま」の毎月1日号に図書館関連記事を掲載	年間掲載月数	12 回	12 回	12 回	100%	5	イベントや図書館からのお知らせを掲載することができ、目標を達成することができたため。	「広報いるま」が誌面リニューアルするが、できるだけ多くの図書館の記事を掲載できるよう努める。	5	・可能な限り進めていけるとよい。 ・「広報いるま」への図書館記事の掲載を求める市民意見が多い。
2 家庭・地域の教育力の向上													
2-1 乳幼児の親を支援する事業の充実 小中学生の親を支援する事業の充実	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」、「一日図書館員」などの利用促進事業をおして、子育て、家庭教育力の向上を図る。	おはなし会の開催	① おはなし会の開催	開催回数	89 回	350 回	278 回	79%	4	目標数には達しなかったが、コロナ禍でも感染症対策を徹底し、開催に努めたため。	通常のおはなし会を再開し、多くの子どもたちに参加してもらえよう努める。	4	・子供たちのためのできることをしていただきたい。 ・おはなし会へ参加してくれる子を多くするため、おはなし会開催の「のぼり」を図書館入口に立てるとよい。
		おたのしみ会の開催	① 冬のおたのしみ会の開催	開催回数	0 回	6 回	4 回	67%	5	目標は6回としたが、これはおたのしみ会の回数であり、このうち「冬のおたのしみ会」は各館で1回ずつ合計4回実施できたため。	「冬のおたのしみ会」は子どもたちに絵本の世界を楽しんでもらうとともにボランティアの発表の場でもあるため、引き続き開催していく。	5	・今後もおたのしみ会の充実をはかっていただきたい。 ・子供たちが楽しみにしている。
		あれこれブックガイドの作成	① 小学生へのあれこれブックガイドの作成、貸出	貸出点数	—	1,500 点	5,264 点	351%	5	目標を大きく上回る貸出点数だったため。 *ただし、新システムでの集計による。	より多くの小学生に本を紹介し、読書してもらえよう継続していく。また、紙での発行以外の配信方法についても検討する。	5	・小学生にもっとも読書を指導していけるとよい。
		あれこれブックガイドの作成	② 中学生へのあれこれブックガイドの作成、貸出	貸出点数	—	500 点	107 点	21%	3	目標は下回ったが、作成し、全中学生に配布することができたため。 *ただし、新システムでの集計による。	今年度から中学生向きを作成したため、今後はより多くの生徒に活用してもらえよう努める。	3	・中学生により刺激をお願いしたい。
		読書ラリーの実施	① 読書ラリーの実施	修了者数	765 人	780 人	764 人	98%	5	多くの児童に参加してもらい、概ね目標を達成できたため。	今後とも、読書の楽しさを伝えるようなラリーを実施できるよう努める。	5	・学校でも読書を子供たちにどんどん進めていきたい。

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
2-1 乳幼児の親を支援する事業の充実 小中学生の親を支援する事業の充実	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」、「一日図書館員」などの利用促進事業をとおして、子育て、家庭教育力の向上を図る。	図書館見学(小学校3年生)の実施	① 図書館見学(小学校3年生)の実施	参加校数	0 校	16 校	16 校	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、市内全校が参加したため。	見学は、図書館を知ってもらい機会なので、引き続き学校と連携を図りながら実施していく。	5	・子供たちは図書館見学が大好きなので、継続していただきたい。
		図書館利用教室(小学校2年生)の実施	① 図書館利用教室(小学校2年生)の実施	参加校数	0 校	16 校	16 校	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、市内全校が参加したため。	利用教室では、図書館の利用方法だけでなく、読み聞かせやブックトークを行う。引き続き学校と連携を図りながら実施していく。	5	・2年生により刺激を与えてほしい。
		一日図書館員の実施	① 一日図書館員の実施(本館)	参加者数	0 人	48 人	45 人	94%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、定員いっぱい申し込みがあったため。(当日欠席あり)	一日図書館員は、貸出や返却だけでなく修理などの仕事も体験してもらい、図書館をより知ってもらい機会のため、引き続き実施していく。	5	・少しずつ実施していただきたい。
		学校図書館ボランティア育成のための研修会の実施	① 学校図書館ボランティア育成のための研修会の実施	参加者数	0 回	1 回	1 回	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、多くの参加があったため。	本の修理の実習を行ったが、今後は他の内容の研修も行えるよう努める。	5	・学校は助けてもらっている。
		ブックスタート関連事業の実施	① ブックスタート関連事業の実施	年間実施回数	0 回	12 回	0 回	0%	3	コロナ禍のため、赤ちゃんがいる会場に向いて実施することはできなかったが、絵本を紹介するリーフレット作成し、配布することができたため。	赤ちゃんに絵本を読み聞かせすることは親子のコミュニケーションに有効なため、引き続きこのことを啓発する機会を確保するよう努める。	3	・乳幼児の保護者向けの紙媒体のたよりの発行について考えていただきたい。 ・赤ちゃんに本をぜひこれからも継続していただきたい。 ・赤ちゃんの時に絵本のすばらしさを感じる場、きっかけとなるので、頑張ってください。
2-2 学校・家庭・地域の連携の促進	関連する市民団体や他の行政機関との連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図る。	移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	① 移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8 校	8 校	8 校	100%	5	小学校へ定期的に巡回することにより、目標を達成することができたため。	引き続き実施するとともに、新たな巡回場所の研究に努める。	5	・図書館から遠い学校にぜひ巡回してほしい。
		配本サービスの継続	② 配本サービスの継続	配本数	26,797 点	30,000 点	23,172 点	77%	4	目標設定が高すぎたのか、目標に大きく届かなかったが、多くの学校に配本し、図書を利用してもらうことができたため。	作業人員が厳しい状況であるが、サービスの維持に努める。また、希望する本を配本できるよう、図書の充実にも努める。	4	・学校図書館への司書の派遣、発達段階に応じた推奨本リストの配布等に期待する。 ・図書の充実が楽しみ。
		市内高等学校の図書担当教諭との情報交換会議の開催	③ 市内高等学校の図書担当教諭との情報交換会議の開催	開催回数	0 回	1 回	1 回	100%	5	コロナ禍で中止していた会議を開催し、高校生の読書状況等の情報を得ることができたため。	高校生のニーズ等を得られる貴重な場であるので、引き続き開催していく。	5	・図書館と学校図書館の図書館システムによる連携をしていただきたい。 ・高校生にも読書を勧めていただきたい。
		庁内関係課との連携事業を実施	④ 庁内関係各課との連携協力による事業の実施	開催回数	6 事業	8 事業	7 事業	88%	5	コロナ禍で規模縮小の事業もあり、回数は目標に達することができなかったが、「入間市平和祈念資料展」「入間市自然展」「認知症ブックフェア」「人間万歳まつり」「児童虐待防止関連図書展示」「パープルリボン関連図書展示」「人生会議関連図書展示」の連携事業を実施することができたため。	子ども向け事業やリサイクルフェアなどでも連携できるよう努める。	5	・子供たちのためのできることを、さらに進めてほしい。

3 青少年教育の充実													
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	事業評価点数	事業評価の主な理由及び意見
3-1 体験活動の機会提供	青少年が気軽に利用できる環境を整え、青少年向けの資料の充実を図る。	図書館を使った調べる学習コンクールの開催	① 図書館を使った調べる学習コンクールの開催	応募作品数	204 点	250 点	256 点	102%	5	前年比124%で目標達成したため。参加児童の調べ学習レベルが向上した。全国コンクールで優良賞1点輩出したため。	市内児童および保護者への広報が課題。学校を通じた新たな広報、SNSを使用した新たな広報を模索する。	5	・学校でも調べる学習コンクールを子供たちに大いに進めている。 ・とてもすばらしい成果だったと評価する。継続推進をお願いする。
4 社会教育施設等の整備													
4-1 図書館施設の充実	指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努める。	公衆無線LAN(wi-fi)の導入	① 公衆無線LAN(wi-fi)の導入	導入施設数	—	4 施設	4 施設	100%	5	計画どおり、すべての館に設置することができたため。	公衆無線LAN設備の維持を続ける。	5	・できることをお願いしたい。
		自動応答電話による情報提供の継続	① 自動応答電話による情報提供の継続	着信数	1,165 回	1,300 回	1,023 回	79%	5	新システムになって廃止されたため目標数に達していないが、旧システム中は1,023回の利用があったため。	自動応答電話に変わる機能としてLINE連携やホームページの刷新を図った。引き続き便利な方法で情報提供できるよう努める。	5	・いろいろな工夫をしている。
		図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	① 図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	評価と公表の実施	1 回	1 回	1 回	100%	5	社会教育施設アクションプランの各項目について図書館協議会委員の外部評価をいただいた上で、会議録とともにホームページ上に公表することができたため。	継続して実施する。	5	・引き続き推進していただきたい。 ・図書館協議会での議論を踏まえながら着実に努力を重ねており評価する。
		指定管理者との連携・協力による本館と分館に際のないサービスの提供	① 指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2 回	2 回	2 回	100%	5	計画どおり、上期(8月)と下期(2月)に実地調査を実施し、指定管理者の運営状況を把握したため。	引き続き計画的に調査を実施する。	5	
			② 指定管理者の人員費や労働条件等の確認	実施回数	2 回	2 回	2 回	100%	5	計画どおり、上期(9月)と下期(3月)に調査を実施し、指定管理者の労務管理状況について把握したため。	引き続き計画的に調査を実施する。	5	
		施設設備の整備を行い、快適な読書環境を確保し、施設に対する市民満足度を向上させる	① 本館の館内設備の充実を図る	実施件数	2 件	1 件	3 件	300%	5	閲覧席にアクリル板を設置し、コロナ等の感染症予防対策をするともに、見通しを良くして掲示物の整備をした。カウンターでは、アクリル板を通しての会話を聞き取りやすくするためにコミュニケーション(スピーカー)を設置した。また、児童コーナーの照明を一部LED化し、児童トイレの照明も明るくしたなど、設備を充実したため。	引き続き利用者の安全を確保しつつ快適な利用環境を確保するため、設備の充実を努める。	5	・使いやすい図書館の維持をお願いしたい。
			② 分館の館内設備の充実を図る	実施件数	16 件	3 件	22 件	733%	5	照明のLED化による明るさの向上、ロビーへのソファの移設、図書の配置換えや案内ボードの設置による探しやすさの向上、館内整理による車いす利用者の動線確保など各館が連携し、創意工夫により、館内設備の充実を図り、利便性を向上させたため。	老朽化した設備の更新が課題。引き続き、利用者が快適に利用できるよう、安全・安心の環境整備により一層努める。	5	
西武分館空調設備工事	① 西武分館空調設備工事	実施箇所数	2 箇所	2 箇所	2 箇所	100%	5	当初の計画どおり工事を実施したため。	年次計画により老朽化した空調設備を更新する。	5	・可能な限り実施できるよう進めていただきたい。		

	本館	西武分館	金子分館	藤沢分館	宮寺配本所
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春のおはなし会スペシャル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の木「ブックツリーを育てよう」(3月～4月) ○ こども読書の日 春のおたのしみ会 ○ 歴史講座「渋沢栄一 第4回」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の木「ブックツリーを育てよう」(3月～4月) ○ 子ども読書の日「おはなし会スペシャル」 ○ 子ども読書の日「およげ！金子のこいのぼり」 ○ 第2回郷土講座 ○ 春の工作会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の木「ブックツリーを育てよう」(3月～4月) ○ こども読書の日 春のおたのしみ会 ○ 暮らしの講座「はじめてのハンドトリートメント」 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内高等学校司書教諭との連携会議 ○ 図書館利用教室(5月～7月) ○ 図書館施設見学(5月～7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども映画会 ○ 図書館利用教室(5月～7月) ○ 図書館施設見学(5月～7月) ○ 大人の工作会「和綴じ本で御朱印帳を作ろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ めいぐるみおとまり会 ○ 図書館利用教室(5月～7月) ○ 図書館施設見学(5月～7月) ○ 第2回古典文学講座「古事記と日本書紀—スサノオの正体—」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科おはなし会 ○ 図書館利用教室(5月～7月) ○ 図書館施設見学(5月～7月) 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七夕飾り(6月～7月) ○ 子ども向け事業「本をよんで、おべんとうをつくろう！」(6月～7月) ○ 学校図書館ボランティア研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七夕工作会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七夕飾り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七夕のねがいごとをかこう ○ 大人の映画会 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる学習講座 ○ 「あれこれブックガイド(小学生向き)No.27」の発行 ○ 「あれこれブックガイド(中学生向き)No.2」の発行 ○ 夏休み1日図書館員(7月～8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる学習講座 ○ 科学実験教室「スライムをつくろう」 ○ 夏のお楽しみ会 ○ 郷土歴史講座「のこぎり屋根は織物のふるさと」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる学習講座 ○ 夏のおたのしみ会 ○ 夏の工作会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる学習講座 ○ 夏休み工作会 ○ 夏のおたのしみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる学習講座 ○ 宮寺配本所おはなし会スペシャル
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動図書館やまばと号特別訪問(藤沢東小学校) ○ 移動図書館やまばと号青少年活動センター夏フェスティバル参加 ○ 「入間市平和祈念資料展」参加 ○ ぜんぶおぼけなおはなし会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みこうさく会「不思議な貯金箱を作ろう！」 ○ 夏休み1日図書館員 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあい金子納涼商工まつり ○ 夏休み1日図書館員 ○ 夏休みこども映画会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1日図書館員 ○ 夏のこども映画会 ○ こわいおはなし会 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「入間市自然展」参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビブリオバトル ○ 本のPOP大賞 ○ 折本を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビブリオバトル ○ 本のPOP大賞 ○ 秋の工作会 ○ 大人の映画会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビブリオバトル ○ 本のPOP大賞 ○ たのしい！布の絵本おはなし会 	

一般質問答弁概要書

市議会定例会 令和5年 第3回 【9月議会】

通告番号	13	整理番号	13-3	担当課名	図書館
質問議員名	宮岡 治郎		答 弁 者	教育部長	
質問事項	市内外の図書館について				
〔最終質問要旨〕 I. 資料の割合、集中度、読書傾向・推進策 (1) 日本十進分類法で、分野別の図書割合は (2) 人気のある図書の貸し出しの集中度は (3) 貸出統計から、読書傾向が分かるか (4) 子ども達への、読書活動の推進の方策は	〔最終答弁要旨〕 【日本十進分類法とは】 日本で使われている図書分類法。図書の主題となる、あらゆる知識を1～9の数字を用いて分類し、どの区分にも属さない全般的なものには0を用いる分類法。 ・ 入間市立図書館の図書資料蔵書構成(令和4年度末) 0 総記(百科事典など)：3.5% 1 哲学宗教：3.0% 2 歴史・地理(旅行ガイドブックなど)：8.1% 3 社会科学：11.5% 4 自然科学・医学：7.0% 5 技術・家政学(手芸や料理など)：6.4% 6 産業：2.9% 7 芸術・スポーツ・娯楽：7.5% 8 言語：1.8% 9 文学：35.6% その他、日本十進分類法では区分していない 絵本・紙芝居：12.5% 視覚障害者用点字資料：0.1% ・ 現在予約件数が多い資料は、2023年本屋大賞受賞した「汝、星のごとく」であり150件以上の予約が入っている。 ・ 予算措置のなかで、市民の要望に対応しながら資料を揃えたり、市民に寄贈を募ったりすることで、同じ図書に予約が集中しても対応できるように努めている。 ・ 令和5年2月1日から8月1日までに貸し出しされた資料で、最も回数が多いのは、絵本「ぐりとぐら」で、貸し出し回数95回。 ・ 一般書で最も多いのは、小説「クスノキの番人」で、貸し出し回数91回。 ・ 2位以下は、子ども向けの資料では絵本が、一般書では小説が貸し出しの上位を占めており、絵本と小説が多く読まれている傾向である。 ・ 分野別の貸し出し冊数の統計でも、文学が73,787冊、絵本が39,787冊と多く貸し出しされており、その他は、技術・家政学の分野が11,146冊、歴史・地理の分野が10,547冊である。 ・ 日常生活に必要な図書が多く読まれている。 【入間市立図書館における子どもの読書活動推進についての基本方針】 入間市のすべての子どもたちが、成長段階において相応しい本と出会い、読書の喜びや楽しさを知り、積極的に読書に親しむことによって実り多い、豊かな生涯を送れるように育て、導くことを目指す。				

<p>Ⅱ. 貸出、レファレンス、 整理・修復、連絡便</p> <p>(1) 貸出カウンターでの 対応で、多い質問は</p> <p>(2) レファレンス・サービ ス業務での諸課題は</p> <p>(3) 閉架での資料の整理 作業、本の修復は</p> <p>(4) 本館と分館、配本所の 連絡便業務の実態は</p>	<p>【乳幼児へのサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアと連携しながら赤ちゃん向けのおはなし会を実施 ・「赤ちゃん絵本コーナー」の充実を図る。 <p>【小・中学生へのサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の授業の内容に対応した資料や調べ学習等に対応する資料の充実を図る。 ・学童保育室や学校図書館支援のため、団体貸出や配本サービスを行う。 ・本に親しむ機会として、また、児童が効果的かつ円滑に図書館を利用できるようにするため、小学2年生を対象とした「図書館利用教室」、小学3年生を対象とした「図書館施設見学」などを実施している。 ・図書館が薦める図書を紹介した小、中学生向けのブックリスト「あれこれブックガイド」を発行、配布し読書活動の推進を図る。 ・小学校への移動図書館車の巡回を通じて、読書活動の推進を図る。 <p>【高校生へのサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10代の発達段階に適した資料の収集とティーンズコーナーの充実に努める。 ・市内高等学校と、定期的な会議等を通じて最新のニーズを把握し、高校生の読書活動の推進を図る。 <p>・貸出カウンターでは、資料の貸出、返却だけでなく、予約資料の入力や利用者登録、読書案内、レファレンス等様々な対応をしている。</p> <p>・レファレンス・サービス業務において、「家系図を作りたいので、自分のルーツを知りたい。」というものがある。また、「金子十郎家忠に関する」質問が多い。</p> <p>・レファレンス・サービスとは、図書館の資料やデータベースなどを使って、調べものや資料・情報探しの手助けをすること。</p> <p>・多様化する利用者のニーズに迅速かつ的確に対応するため、専門的知識や技術を有する職員の配置及び職員のレファレンス能力の向上という点が課題である。</p> <p>・埼玉県立図書館が主催する研修に参加したり、受け付けた質問の記録を取り、職員で共有したりすることなどで、レファレンス能力の向上に努めていく。</p> <p>・閉架(バックヤード)での作業では、資料の修復や入間市や埼玉県で発行した郷土、行政資料等のデータ登録作業を行っている。</p> <p>・資料を修復することにより、より良い状態の資料を利用者に提供するよう努めている。</p> <p>・連絡便業務とは、分館等へ予約資料の回送、他館所蔵資料の返却、連絡文書等を配送するもの。</p> <p>・毎日1回の連絡車により運行している。</p> <p>・本館から藤沢分館、宮寺配本所、金子分館、西武分館の順に巡回し、再度、金子分館、藤沢分館を經由して戻ってくる工程で運行。</p>
---	--

<p>Ⅲ. 指定管理、広域化、技術革新、新展望</p> <p>(1) 3分館が指定管理者制度になっての変化は</p> <p>(2) ダイア5市間の、各図書館の連携体制は</p> <p>(3) 青梅市との、相互の協力体制での成果は</p> <p>(4) 瑞穂町との、相互利用を模索してはどうか</p> <p>(5) システム管理等の技術革新と、新たな展望は</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から、西武分館、金子分館、藤沢分館の3分館の管理運営について、指定管理者制度を導入している。 <p>【変化（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者のノウハウを活用し、「調べる学習コンクール」、「俳句ポスト」などの各種自主提案事業を実施している。 ・西武分館、藤沢分館では、平日午後8時までの夜間開館を開始することができた。 ・司書有資格者を増員することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成7年10月から、ダイア4市での市立図書館相互利用を開始。 ・その後、平成31年4月にダイアプランに日高市が加入したことに伴い、5市での相互利用を行っている。 ・5市のいずれかに住民登録のある方は、5市の市立図書館全てが利用できる。 ・ダイアプラン図書館部会において、図書館サービスの向上について、定期的に情報交換や協議を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月から青梅市と相互利用を開始。 <p>【令和4年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間市立図書館での青梅市民の新規登録者数9人、貸出者数80人、貸出点数350点 ・特に金子分館の利用が多い。 ・青梅市図書館での入間市民の新規登録者数327人、貸出者数1,175人、貸出点数4,702点 ・青梅市図書館で、入間市民の利用が多くなっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂町立図書館は、令和4年3月にリニューアルオープン。 ・蔵書冊数は、約22万冊。 ・入間市に隣接していることから、入間市民が瑞穂町立図書館で読書等の利用をしていると思われる。 ・今後、情報交換を行いながら相互の利用ニーズを調査するなどして、相互利用による効果などを模索していく。 <p>【電子図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月から「いまし電子図書館」サービスを開始 ・電子書籍は、インターネット環境があれば、いつでもどこでも利用が可能。 ・従来の紙の本にはない新たな機能として、読み上げ機能や文字サイズの拡大機能もある。 ・従来の紙の本だけでなく、手軽に拡大しながら読めることから、高齢者でも本を読みやすい環境を提供できるメリットも注目されている。 ・公共の福祉サービス向上にもつなげる新たな機能を要する電子書籍等を提供することにより、高齢者だけでなく視覚障害者や発達障害者等の読書困難者など、幅広い層への読書環境を提供することが可能となる。 <p>【図書館システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月には、図書館システムを更新し、フェリカやマイナンバーカードで貸出ができるようになった。 ・フェリカとは、PASMO（パスモ）やSuica（スイ
---	---

カ)等の交通系ICカードやおサイフケータイ機能があるスマートフォンに搭載されている「非接触型」のICカード技術方式である。

- ・登録したカード等を図書館の専用カードリーダーにかざすだけで本などを借りることができる。
- ・さらに、入間市立図書館公式 LINE（ライン）アカウントを開設し、友だち登録すると、資料検索等を容易に行うことができる。
- ・これらの技術革新により、利用者のニーズに合わせて、サービスが選択できるようになった。

【新たな展望】

- ・SNSなどを通じた情報発信を研究していく。
- ・図書館では、「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」を基本理念に掲げ、市民の読書活動の推進を図っている。今後とも、市民が日常生活や仕事などで必要な、くらしに役立つ情報を提供するとともに、知りたい、学びたいという要求に応えることで市民の生涯学習を支える図書館となるよう努めていく。